

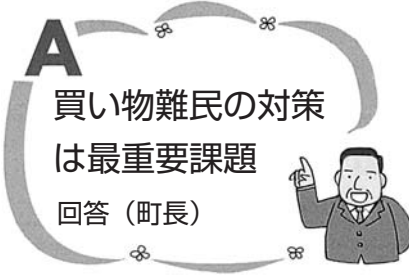
買い物弱者に救いの手を



質問者
中野 博 議員

わが国の経済が疲弊する中、全国各地で大型スーパーや個人商店が閉店を余儀なくされています。その影響から、高齢者や体の不自由な人達が日々の買い物に困っているのが現状です。

各地の自治体では、いろいろな手段を使っているが、対応策を練っていますが、わが松田町でも然りです。「買い物難民」に対しての町としてのお考えをお聞かせ願います。



買い物難民の対策
は最重要課題
回答(町長)



を利用した買い物交通のサービス、宅配サービスの奨励等あらゆる対策を講じていく。既存の店舗の存在のためにも、町民に対しては、できる限り

町内での購買を促したい。新松田駅前の物産館(地産地消の会)の存続、及び充実に對しては、今後も最大限の支援をこころい。

現行の介護諸制度が高齢者及び家族に納得されているか



質問者
石内 浩 議員

介護保険最大の目的が「施設から在宅へ」だった

は、施設指向が止まらない。この町に老いても安心して住み続けてもらうためにも、現状を分析の上、特に以下の点につき伺いたい。

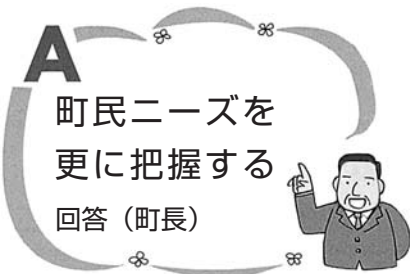
方は。

③ 在宅サービスを望む方に対する家族を含めた、町の独自の対策・対応は。

全国的に社会問題となっている「買い物難民」に対し人口の増、及び定住化の観点からも大型店舗の誘致、デマンドバス

① 町に住民票があっても、入所先での生活を余儀なくされている方の現状及びその推移は。

② 家の中の事故死が交通事故死より多いが、住宅のバリアフリー化を推進するための考え



町民ニーズを
更に把握する
回答(町長)



① 現在の松田町の介護認定者394人のうち、施設入所者は80人(20.3%)、在宅の方は314名(79%)。過去5年間の推移では、その割合は、ほぼ横ばいである。

② 介護保険の住宅改修費用補助は、改修費用総額から10%の自己負担分を除いた額で、回数に関係なく20万円が支払い限度。

21年度の改修内容では、スロープや敷居な

どの段差解消8件、トイレ改修1件、手すり27件。今後も住宅改修の案内やケアマネージャー等への徹底を図る。

③ 「移送サービス」は1回2時間5000円の負担で、21年度657人の利用、「緊急通報用電話機の設置」は20人の利用、その他介護予防として「生きがいデイサービス」などがあり、

今後も町民ニーズを更に把握し、充実に図る。

物産館の商品の一例



かぼちゃ



きゅうり

おから(冷蔵庫に保管)



新松田駅前の物産館